

第1回 メッシュ型流動人口検証WG 議事概要

1 日 時 平成30年11月12日（月）13:00～14:00

2 場 所 中央合同庁舎第4号館 12階 1212特別会議室

3 出席者（主査を除く構成員は50音順）

- ・ 構成員 水野主査、飯島構成員、菅構成員、兵頭構成員、藤原構成員
- ・ 事務局 総務省統計委員会担当室

4 議 題

- （1）メッシュ型流動人口検証WGの進め方について
- （2）メッシュ型流動人口検証WGの実施内容について

5 配付資料

- 資料1 メッシュ型流動人口検証WGの進め方（案）
- 資料2 メッシュ型流動人口検証WGの実施内容について（案）
- 参考1 メッシュ型流動人口検証WGの設置について
- 参考2 メッシュ流動人口検証内容（詳細）
- 参考3 提供データの利用について
- 参考4 提供データサンプル

6 議事概要

（1）メッシュ型流動人口検証WGの進め方について

議題1に関して、事務局から、資料1に基づき説明を行い、資料に沿って作業を進めることで了承された。

（2）メッシュ型流動人口検証WGの実施内容について

議題2に関して、事務局から、資料2に基づき説明を行い、資料に沿って作業を進めることで了承された。

主な質問・意見は次のとおり。

2 b ②モバイル空間統計比較検証（メッシュサイズ比較検証）

- 1km メッシュまでだと合致しないものが増えると想定されるが、それ以上の大きさは行わないのか。
 - 1km の次の大きさは 10km となり、市町村レベルの大きさになり、2c①で実施する市区町村比較で代用できるため、現時点では実施しない予定である。

2 b ③モバイル空間統計比較検証（年齢別比較検証）

- Agoop データとモバイル空間統計で年齢別データはどうなっているか。
 - Agoop データには年齢別データはないため総人口を、モバイル空間統計は年齢別人口を使用して、相関分析・回帰分析を行う。

2 b ④モバイル空間統計比較検証（人口規模別精度検証）

- Agoop データの母数は 21 万と小さいので、国勢調査でメッシュ人数の少ないところは合致しないところが出てくると思われる。

2 c ①国勢調査昼間人口比較検証（市町村比較）

- 複数市町村が含まれるメッシュはどう取り扱うのか。
 - 按分などは行わず、メッシュ人数を全ての市町村に加算することと考えている。

参考 2 メッシュ流動人口検証内容（詳細）

- Agoop データについて、メッシュコード集計（11 桁→9 桁）はどのようにして行っているか。
 - メッシュ ID9 桁・集計期間(年)・(月)・(平日/休日)・(時間)をキーにして、流動人口数をキー単位に加算している。

以上